

人材枯渇で
閉鎖施設続出

報酬削減で
運営危機勃発

負担増で
受療行動変化

“事業所の選別鮮明に” “選ばれる「ウリ」づくり必須” “効果加算の強化”…
困難な時代でも生き延びていくためには、高品質化&最新化が必須です。
2025年問題・2040年問題に向けて介護は大きく変化しています。

介護業界は、激変の時代に突入

1 人材不足による激変

「利用者はあるけど、職員がいない」

職員不足で、特養、老健、グループホームなど各施設で**閉鎖・倒産**が増加！

離職率10%以下の事業所が約半数。離職率10%以上は近年中に閉鎖・倒産か！？

職員の集団離職で一夜にして倒産。職員の転職増加で将来の倒産リスク増加！

職員シェアの促進！社保、時間外勤務、労災など新たな課題も！

2 制度改革による激変

「地域包括ケア」で「地域ケア」「包括ケア」の推進！その方向性は…。

旧態依然の古びたサービスでは生き残れない！

筋トレ・マシン・レク・集団体操…去年と同じことを続けてませんか？

新サービス導入のデイ続出、共生型サービスの創設で利用者確保、サービス内容が変わる！

包括報酬サービスの促進・加速でデイ報酬削減か！？

地域包括報酬の姿は…。

3 財源困窮による激変

報酬削減で経営困難事業所急増！自己負担割合の増大・拡大で受療行動も激変！

ケアプラン自己負担化で複雑な動きが発生！

4 保険外促進

軽度者（要支援1、2～介護1、2）中心の事業所はつぶれる！？

中重度中心がいよいよ本格化。軽度者の負担増大！予防事業は要介護1、2も利用可能へ！

就労デイ、仕事付きサ高住、地域貢献加算等で介護現場はどう変わるか！？

自費サービス導入でデイの2極化推進「金持ちデイ」「貧乏デイ」